

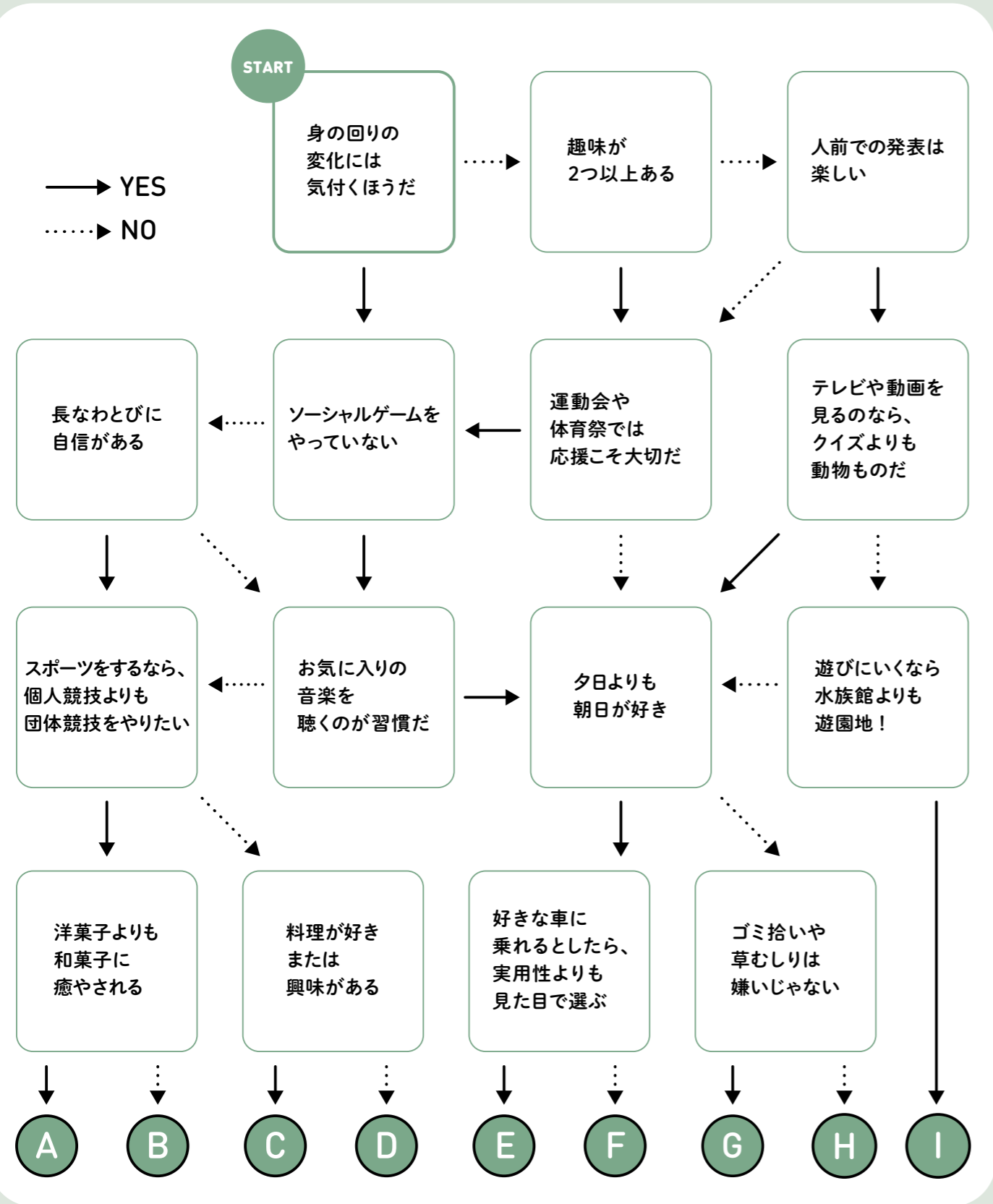
音楽診断

第11回 吹奏楽編

『ヴァン』オリジナルでお届けする音楽診断企画の第11弾。
吹奏楽で用いられる9つの楽器から、あなたにぴったりの楽器をご紹介します。



監修・解説 = 高山直也
Text = Naoya Takayama



あなたへの
おすすめは？

A さまざまな表情をもち周りとの調和を大切に ホルン

金管楽器でいちばん難しい楽器としてギネス世界記録に認定されているホルン。ルーツは、動物の角で作った角笛であるといわれ、英語やドイツ語の「ホルン」は、楽器以外にも動物の「角」の意味があります。吹奏楽ではハーモニーを担うことが多く、マーチなどでのリズムカルな後打ちも役目の一つです。また木管楽器とも調和します。



B 集中力を発揮しクライマックスで大活躍 トロンボーン

トロンボーンは、スライドを動かして音の高さを変えるため微妙なピッチの調整ができます。一方、正確にピッチを捉える耳が必要です。吹奏楽では中低音部を支えながらハーモニーを担い、クライマックスでは力強く吹くことも。パレードでは、前の人にスライドがぶつからないようにするため先頭を行進し目立つ場面もあります。



C リズムでバンドを引っ張る！一人何役もこなす器用さも 打楽器

パーカッションとも呼ばれ、リズムの中心となり、ダイナミクスに変化を与えます。またリズムのみならず、鍵盤打楽器ではメロディーやハーモニーなどを担当。ときには元気よく掛け声も。さまざまな打楽器を用いて一人何役もこなさなければならないこともしばしばです。マーチなどでは拍を感じさせ、拍を定める大切な役割を担います。



D 広い視野で全体を朗らかに支える チューバ

最低音を担当するチューバは、吹奏楽のサウンドを支える縁の下の力持ちとして無くてはならない楽器です。前面に出るといよりは、一歩下がることが多く、広い視野で物事全体をみているという側面も。吹奏楽では常にベースラインを担うため、オーケストラとは異なりほとんど休みのない曲もあり、忍耐強さが求められます。



E 華やかなまとめ役 サクソフォーン

木管楽器と金管楽器のつなぎ役として、ベルギーの楽器製作者アドルフ・サクスが考案したことからサクソフォーンと呼ばれます。クラシックからジャズまで幅広く用いられ、ヴィブラートをかければ歌心あふれる表現力で聴き手を魅了。吹奏楽では華やかなソロで盛り上げ、他の楽器ともブレンドしながらサウンドをまとめます。



F 澄んだ音色で合奏を明るく彩る フルート

フルートは、高音域を受けもつ木管楽器。優しい澄んだ音色が特徴で軽やかさも、小鳥のさえずりを連想させます。息を歌口のエッジに当てて振動させるエアリードの楽器で、空気を直接音にします。吹奏楽ではクラリネットとメロディーラインの響きをつくり、ときには装飾的な役割も。また独奏楽器としても人気があります。



G 豊かな響きで幅広い役割を担う ユーフォニアム

楽器の名前は、ギリシア語の“よい響き”や“よく響く”を意味する「ユーフォノス」に由来し、柔らかく豊かな響きの特徴です。吹奏楽での役割は幅広く、メロディーやマーチなどの対旋律を担い、他の楽器とブレンドしながら全体のサウンドをまとめます。ときにはチューバとともに低音を支え、縁の下の力持ち的な役目も果たします。



H 主役も脇役もこなすサウンドの要 クラリネット

優しく温かみのある音色が特徴といえますが、速い動きも得意です。吹奏楽ではパートの人数が多く、メロディーをみんなで演奏するなど、オーケストラでいうヴァイオリン同様、サウンドの要となります。また2ndや3rdは、オーケストラの第2ヴァイオリンやヴィオラのように内声を担うこともあり、主役と脇役をこなします。



I 精神力必須の輝かしい存在 トランペット

金管楽器の花形といえるトランペット。輝かしいファンファーレをはじめ、応援の場面では欠かせない楽器ですが、歌心あふれるメロディーを吹くこともあります。高い音が決まるとカッコイイだけにプレッシャーも大きく、メンタルの強さが求められます。一方、吹き損じたときは細かいことを気にせずサバサバとした一面も。



高山直也(作曲家、音楽評論家)

作曲家、音楽評論家。武蔵野音楽大学卒業後、幅広い創作活動を行い、ビクターなど数々のレコーディングに参加。また音楽科教科書の編曲も手がける。一方『音楽の友』誌では演奏会批評を担当する他、著名演奏家のCDや演奏会の曲目解説も多数。1981年笹川賞作曲コンクール第1位(現・日本音楽財団)。全日本吹奏楽コンクール審査員。